

東京電力福島原発事故対応ニュース

【東日本大震災対策ニュースがんばっぺ編 NO18】

2011年7月13日

生活協同組合
コープふくしま

2ヶ月ぶりの発行です。

組合員向け放射能学習会が好評でした。

4月27日から6月末までの期間、組合員と職員対象に放射能学習会を数十箇所で開催しました。日本生協連から全面的なご支援をいただき、すべての学習会場に講師陣を派遣していただきました。日常生活でさまざまな情報が飛び交う中、福島県民の動揺、特に小さいお子さんのいる家庭では不安が払拭されない状況が続いています。そんな中で、生協の学習会は、「怖い分だけ正しく恐がる」という趣旨で開催されました。多くの参加者が精神的ストレスを軽減できたと感想を寄せてくれました。

<郡山市 有松理事のレポート>

6月29日、放射能学習会

午前の部は予定人数よりも多くの方がいらしてくれました。小さいお子さん連れの組合員さんもいたので、別室でお子様3人を託児しました。

南(ブロック)の委員さんに感想を聞いたら、「違うところでの講演を聴いてとても落ち込んでいたけれど、今日の説明を聞いて少し軽くなりました」と言っていました。



除染(放射能除去)ボランティア募集のサイトをホームページに立ち上げました。

放射能学習会を進めつつ、放射能除染の要望が日々高まっていると実感しています。

学習を通して安心できる人、安心できない人とさまざまです。だれでも一致するのが“生活環境の放射能を減らしてほしい”ということです。

コープふくしまでは、自治体や町内会などが取り組む除染活動に際して、ボランティアを募集して、それぞれの実施主体者との間を取り持つことにしました。

当面は、伊達市のアドバイザーとして活躍されている NPO 放射線安全不オーラムの田中俊一さん(元日本原子力学会長)と連携して除染活動が前進するようにお手伝いをさせていただきます。

直近の除染活動は7月16日17日の2日間、伊達市の富成小学校で行われます。ボランティア登録者もサイト立ち上げ後わずか一日で36名となっています。

皆様の積極的ご協力をお願いいたします。

* 因みに、作業は簡単です。線量は低いので放射線防護服は不要です。暑さ対策が肝心です。

サンネット共同購入で企画していただいた福島応援やさいボックスが大好評です。

注文数は週平均15000箱、すでに12万箱を超えるご利用です。

その上、東北6県の約1000名の組合員さんから応援メッセージを頂戴しています。

< 応援ボックスをご利用いただいた各県の組合員さんからのメッセージ >

コープあきた

伊藤さん

一昨年仲間15人で、三春の滝桜と花見山公園に行ってきました。今回の災害につきましては心から、お見舞い申し上げます。農産品は大変おいしくいただいております。これからも質の良いものを、どんどん作って届けて下さい。秋田にも、大潟村の桜と菜の花、角館町の武家屋敷の桜など見所がありますので、どうぞ一度お越し下さい。

みやぎ生協

高橋さん

新婚の頃、浪江町に住んでいました。浪江町の皆さん、大変な思いをされていると思います。どうか気を落さず。お体大切にしてください。微力ですが応援しています。(さくらんぼ、すごーくおいしかったです、甘い!!)

共立社(山形県)

TOMOKOさん

福島市出身です。ふるさとが傷つき苦しんでいることが本当につらいです。福島のみなさん一緒にがんばっていきましょう。生産者のみなさんおいしい野菜、おいしい果物ふるさとの味を楽しみにしています。

いわて生協

小瀬川さん

応援ボックスを2度目です。5種を楽しみにしております。今回「小ねぎ」と「スナックえんどう」ははじめていただきました。6月12日母の墓参をすませてから、陸前高田の1本松を見に、主人の運転で妹と甥と4人で行って来ました。常日頃内陸にいる私達は被災地に行き目で見、鼻で匂いを感じる事も大事と思ってました。途中千葉県警・兵庫県警など多数の車をみました。とてもありがたいと感謝です。

コープあおもり

オオサワさん

どれも新鮮でこんな安価でいいんでしょうか。申し訳ない気持ちになります。友だちが新地町に住んでいるので、大変な状況で生活していることを耳にしています。こういうことが応援になるのであれば長く続けていただきたいと思います。福島が元気な姿に戻るまで……。

ふくしま

ONさん

いつも美味しくいただいています。今回は苦言を一言。トマトの上にキャベツがのっかっている、トマトがつぶれていました。潰れたトマトは勿体ないので炒めて食べましたが、詰め方を工夫してもらいたいと思います。

福島応援隊「福島の桃を送ろう！」の企画を多くの企業等のご協力で進めています。

福島県の農家を支えていく目的で、地産地消ふくしまネット(地元協同組合の協議会組織)が福島県内で事業をしている企業様等から協賛いただいて桃ギフトの企画をしました。協賛いただいた企業等の数は100社に及びました。現在、各社に対してギフトチラシを必要部数お届けさせていただいています。また、この企画に対して日本生協連が全国の生協にも応援を呼びかけていただいたことで、多くの生協からギフトチラシのご注文をいただいています。

日本生活協同組合連合会 会員支援本部
日本生活協同組合連合会 東北支所
コープながの
生活協同組合共立社
とちぎコープ生活協同組合
新潟県生活協同組合連合会
生活協同組合水光社
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合コープCSネット
近畿労働金庫兵庫地区統括本部 (兵庫県生協連)
鳥取県生活協同組合
生活協同組合さいたまコープ
山口県生活協同組合連合会
生活協同組合おおさかパルコープ
新潟県総合生活協同組合
生活協同組合コープみえ
生活協同組合コープとうきょう
生活協同組合コープあいづ
福島県南生活協同組合
福島県生協連
コープふくしま

6月28日コープ大分さんの総代会に参加させていただき、状況報告の場を設けて

いただきました。

コープおおいたさんからは、震災直後に述べ100名ほどの人的支援をいただきました。南相馬市の直売会にも青木専務自らご参加いただきました。その後も、福島県の物産をおおいたの店舗で販売していただいで、支えていただいています。

6月28日の総代会ではふくしまから御礼を述べさせていただきました。大分県知事が来賓挨拶され、福島県の佐藤知事からはコープおおいたに感謝のメッセージを寄せていただきましたのでコープふくしまの野中が代読させていただきました。

総代会終了後には、大分県内の多くの生協から200名ほど参加されて放射能学習会を開催されました。学習講演は工学博士の甲斐倫明先生(大分県立看護科学大学教授)がわかりやすく話をされました。

このような放射能の学習をしていただくことが何より福島県民を支えていただくことになると感じて心からありがたいと思いました。

8月にはコープおおいたの組合員さんが30名ほどで福島においていただくことになり現在準備中です。



7月2日ならコープの森宏之理事長、高橋永経営管理マネージャーが福島県にお見

えになり、福島県生協連、医療生協連、コープふくしまに対してそれぞれ支援金をご

持参くださいました。

7月7日日本生協連の浅田克己会長がお見えになり、全国から寄せていただいた義捐金の第四次分3億8千6百50万円を、福島県の佐藤節夫保健福祉部長に激励の言葉を添えて届けていただきました。【四次分まで合計額6億9350万円】
全国の組合員の皆様の暖かいご支援に対して、佐藤節夫部長から感謝のことばが述べられました。